

つるがしま里山サポートクラブ 活動報告書（令和7年度）2025

活動日時	月	日	曜日	開始	終了	場 所	会員参加数
	9	6	土	8 : 30	15 : 30	藤金市民の森	15名
活動名称	藤金里山体験会					報告者：吉井 優	

1、活動目的

里山体験会は、子どもゆめ基金に助成申請して成り立っているイベントです。私達が市民管理協で整備している藤金市民の森は、整備された雑木林が清々しく、近隣住民の散策路として親しまれています。藤小の野外学習でも使っていますが、この森を子供たちに積極的にアピールし、楽しさを通して森の大切さを理解してもらいたいです。自然環境でいろいろな体験をした子ども達は、イメージ力、創造力、コミュニケーション力、協調力・忍耐力、問題解決力が増すとされています。なにより、非日常的な体験により、好奇心にあふれ旺盛な知識欲とともに心の豊かな大人に育ててくれることを期待します。

2、活動内容ほか

8時前からツリーイング指導団体は、ツリーイング準備をはじめていました。我々里山クラブスタッフは、8時半ごろ集合し、ハンモックをはり、綱渡りロープ設置、川遊びの準備を始めました。9時ごろ協力団体スタッフも集まり、全員で準備作業に協力しました。

昨年に続いて、なかよしっこクラブが森の生き物教室を開催しました。ツリーイングは、NPO 法人ツリーマスタークライミングアカデミーに指導を依頼しています。ハンモックの管理は、NPO 法人一二三富の会にお願いし、地元の中央支え合い協議会には綱渡りのお手伝いをお願いしました。広域おやこ劇場ひき北いるまの方には、受付とツリーイング参加者管理をお願いしています。

9時半から、受付を開始し、10時からツリーイング、ハンモック、綱渡り体験を開始しました。11時ごろから穴掘り体験と魚とり体験を実施し、12時に午前の部を終了し、昼食休憩としました。12時半ごろから昼食をとり、13時から午後の部を開始しました。14時半から終了セレモニーを行い、その後、片付けをはじめ、15時に全て終了しました。

3、評価：

6月の太田ヶ谷里山体験会も、子どもの参加が60名であり、藤金でも55名となり、子ども夢基金の助成条件はクリアしましたが、数年前までは、コロナ禍にもかかわらず70名をこえていました。昨年から猛暑が収まらず、外出を控えるようになったことが考えられます。ちなみに大人の参加登録者は45名でした。ただし、当日の藤金市民の森は、木陰に囲まれており、炎天下の猛暑環境は避けられ、気持ちよく過ごすことができていたように思われます。ハンモックでのんびりすれば、市民の森の過ごし方としてお勧めでしょう。この木陰に囲まれた快適な環境をアピールできれば参加者を増やすことができそうです。

4、課題

評価でも書きましたが、猛暑対策が大きな課題でしょう。来年は黒潮の蛇行が収まり、猛暑から解放されるとの噂がありますので期待します。昼食が遅れて申し訳ございませんでした。大事な昼食ですが、うっかり頭から抜けていました。今後はイベント開始時に担当者を決めてお願いするよう徹底します。

<里山参加会員>

金、杉山、内藤、石樽、小沼、阿部、牛島、井上

小澤邦、吉富、佐野、小嶋、吉井、(撮影時不在 上見、小澤弘)

<活動写真>

